



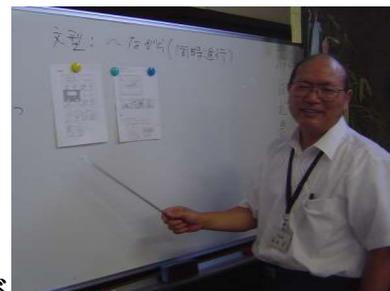
節電対策として、7月に入り、西南の角部屋に実験的に設置されたグリーンカーテン（ゴーヤ）。

7月9日に関東地方も梅雨が明け、あじけんにもいよいよ「夏本番」がやって来ました。今夏は、節電への協力などもあり、例年になく暑い夏となっています。

そんな暑さの中でも、実習生の皆さんは、朝夕2回シャワーを浴びたり、常に水筒を持ち歩いて水分補給を欠かさないなど、それぞれに暑さ対策を行ないながら、毎日、元気に日本語学習に励んでいます。

あじけん日本語講師ファイル

Vol.7: 岡田 茂



あじけんで実習生に日本語を教え始めて4年目になります。私は実習生に接していて、いつも驚くことがあります。それは、わずか3ヶ月前後の訓練期間で、世界の言語の中でも最も習得が難しい言語の一つと言われる日本語を、皆それなりに習得してくることで。“選抜された人たち”だからかも知れませんが、ぜひ日本で実習したい、日本での実習を満ちたものにしてほしい、という実習生本人の熱意がそうさせているのだと思います。私は、これから本格的に日本語の海に飛び込んで行くこうした実習生のみなさんに、日本人による生きた日本語を熱意をもって教えていきたいと思っています。

Q1 これまで教えた中でいちばん印象に残っている実習生は？

ベトナムの実習生グエン ティ ホン ガンさんです。自分の学習のみならず、一緒に来日した同僚の学習進度にも気を配って授業に出席していました。日本で日本語能力試験N2を受験したいからとテキストも買っていきました。とてもがんばり屋の実習生でした。

Q2 当校の日本語指導において最も大切にしていることは？

実習は仕事を通じて行なわれるわけですから、「会話力の向上」に力を入れて指導しています。会話は質問（指示）と返答形式の言葉のキャッチボールです。相手の話し（質問・指示）をよく聞き、それに答えていく実習を、実習生と講師、実習生と実習生のロールプレイ形式等で実施しています。

今月の実習生

左から樊昌平さん・樊昌亭さん・孫紅敏さん。

3人は中国からの実習生で、趣味が刺繍とのことだったので、作品を見せてもらおうと、なんとこの大きさ！ここまで既に半年以上掛かっているようで、完成までには更に1年以上掛かるそうです。



あじけん流日本語授業

～文化的要素を取り入れた表現活動①～

今月の「あじけん流日本語授業」は、当センターの教育理念「より実践的なコミュニケーション活動を通しての日本語指導」の一環として、「七夕（たなばた）」を教材に行なわれた授業の様子をご紹介します。

この授業で、実習生の皆さんは、七夕にちなみ、自分達の願い事を実際に短冊に書き、笹の葉に結びつけました。実際に日本で行なわれている祭事を授業に取り入れることで、より実践的な言語活動が可能となり、皆いつもにも増して生き生きと表現活動に取り組んでいました。また、「日本文化を実際に体験出来るととても勉強になりました」との感想も数多く聞かれました。



願い事は、万国共通？大半の実習生の皆さんが、「家族の健康」を願っていました。そんな中、少しユニーク願い事もちらほら・・・

**願い事が
叶いますように・・・**



逢金風（ホウキンフウ）さん
「中国にいる弟とが、
勉強がんばりますように・・・」



孫玉強（ソンギョクキョウ）さん
「たくさんお金がたまりますように！」

